

## 解答

一 a 倉庫 b 登録 c 済 d 口外

二 ここはあず

三 つよしが、新品でかっこいい自分をあずかりやに三日もあずけ、取りにきたと思ったら、かわりにさびてセンスのない自転車をあずけていったから。

四 高校で会った自転車たちが「おれ」のかっこよさをほめたたえたので、ほこらしく思っている。

五 くたびれた、色も姿もさえないママチャリで、高校生が使うのにふさわしくないが、そこそこ手入れをされ、持ち主に愛されている感じがするので、うらやましく思っている。

六 ー 必死に働いているが、つよしの学費をためるのに精一杯で余裕がないため、アパートのとなりの遠藤さんに頭を下げてゆずってもらった。

2 型が古くかっこわるいので、高校生の自分が通学に使うのは恥ずかしかったから。

3 父に新品の自転車を買ってもらったことを隠し、母が苦勞して手に入れた自転車で通学するふりをすることは、ぼくを一生けんめい育ててくれている母をだましていることになると感じ、うしろめたく思っている。

七 ア

八 イ

九 何度も修理されながら、母から娘へと受け継がれて家族の役に立っていることに自信とほこりを持ち、持ち主から愛され大切にされて喜びを感じている。

十 A 見た目が美しく新しい。

B 持ち主に愛され、使いこまれている。

十一 「おれ」はお気に入りのかっこいい自転車で、できればこれからも一緒に走りたいと思っている。しかし、母の愛情を裏切るような行為を続けることはつらく、苦しかった。荒井さんが古い自転車にほこりと愛情を持ち、堂々と乗り続けていることを知り、自分も、母の用意してくれた古い自転車にほこりを持って乗っていこうと決心した。「おれ」と本気で走り、真剣に向き合ったことで、「おれ」と父の思いを胸に刻むことができ、過去をふりむかない決意ができたから。